

みつぎ便り

128号
5月号

板橋区役所みどりと公園課の花づくりグループと
エコポリスセンターの環境観察員地域自主活動グループに
所属しているボランティア団体「見次の会」です

平成29年5月1日 https://itbs-ecopo.jp/environsurvey_report/



イベリス

イベリスはイベリア半島が主な自生地であることから、スペインの旧称イベリアに因んで付けられたと言われます。また、この花は太陽を向く性質が強く、花茎が曲がりやすいため、中国名では屈曲花と呼ばれます。イベリスは四〇種ほどあるといわれ、日本には明治になってから入ってきました。原産地は遠いのですが、比較的育てやすいために日本でも良く見かけるようになってきました。

ところで皆さん、見次公園の

イベリスはどこに植え込まれているか分かりますか？お教えしましょう。バス通りの「見次公園前」の信号を渡って右手に機械室があります。その前からバス通りに沿って植えてあり、白い花が咲いています。

まだ株は小さく、花の一つ一つも小さいので目立ちませんが、大きくなって一斉に咲いたときの存在感は大きくなると夢想しています。どうぞ見守って下さい。

ナメクジ (蛞蝓)

(利)

今年も花壇に春がやってきました。昨年秋に植えた花々が今、美しく誇らしげに輝いて見えます。更に、花壇には雑草も勢いを増しますので、これの草むしりは欠かせません。

今回は、この作業中に花壇で見かけた、ナメクジにスポットを当ててみました。この写真を見て、気持ち悪がる方もいるかとは思いますが、どうかご勘弁ください。

ナメクジは、陸貝の仲間です。一般的にカタツムリから殻の部分が退化したらしく、生物学的



には進化？したものだと言われている。

カタツムリとナメクジは同じ仲間ですが、圧倒的にナメクジの方が嫌われ者のようで、実際、農作物に被害を与えたり、台所に現れたりすると害虫扱いにされることも多く、駆除の対象となります。

また、この仲間は体内に寄生虫がいることがありますので、生で食べることは無いと思いますが、素手で触ったりした後は、手を良く洗うことが肝心です。

(圭)